

# 過去に例を見ない「複合災害」への備え

～新型コロナウイルス感染症対策に配慮した避難所運営のポイント～



令和2年9月

徳島県危機管理環境部  
とくしまゼロ作戦課

## はじめに

新型コロナウイルス感染症の拡大が危惧される中で  
地震や豪雨などの大規模災害が発生した場合、  
避難所でクラスターによる爆発的な感染拡大が起こるおそれがあり、  
「過去に例を見ない複合災害」への備えが求められています。  
徳島県では令和2年8月8日(土)に  
徳島県立鳴門渦潮高校において3密を避けるための  
「スペースの確保」や「パーティションや段ボールベッド等の  
効果的な活用やレイアウトの方法」、「避難者の受付」、「施設の衛生対策」など  
具体的なシミュレーションを行う検証事業を実施しました。  
本稿の検証結果を一例として、  
避難所運営や訓練の参考として御活用いただければ幸いです。



## 目次

1	事前受付(健康な人と発熱・体調不良者の確認)	1p
2	個別受付(避難所への入所手続き)	3p
3	居住スペース(健康な人のスペース)	5p
4	専用スペース(発熱・体調不良者等のスペース)	7p
5	PPE(個人防護具)	9p
6	食事の受け渡し	10p
7	ゴミ処理(専用スペース)	11p
8	その他(サブ避難所・避難物展示)	12p

### 参考資料

避難者名簿一覧表	15p
避難者カード	16p
健康状態チェックカード(日ごと)	17p
健康状態チェックカード(週ごと)	18p
コロナ時の避難所レイアウト例(避難受付時)	19p
コロナ時の避難所レイアウト例(避難受付以降)	20p
健康な人の避難所滞在スペースのレイアウト例	21p
発熱・咳等のある人や濃厚接触者専用室のレイアウト例	23p
避難所レイアウトの一例	24p
避難所内での感染症対策について	25p
避難所内の掲示例(こんな時はスタッフへ)	26p
避難所でのゴミの捨て方について	27p
避難所の物資・資材等リスト	28p



このQRコードより  
『過去に例を見ない複合災害への備え』の  
解説動画(フルバージョン)をご覧ください。

また、項目ごとの解説動画もご用意しています。  
各ページのQRコードよりご覧ください。



# 1 事前受付

「事前受付」は、避難所に訪れた人が最初に立ち寄る場所です。体育館等の避難所に入る前に検温や体調確認を行い、「健康な人」と「発熱や体調不良のある方」の動線を分けてそれぞれの居住スペース及び専用スペースに案内します。



事前受付の  
解説動画はこちら



■ 夏場に屋外で受付をする場合は、受付前にテントを設置するなどの熱中症対策を行います。



## ポイント

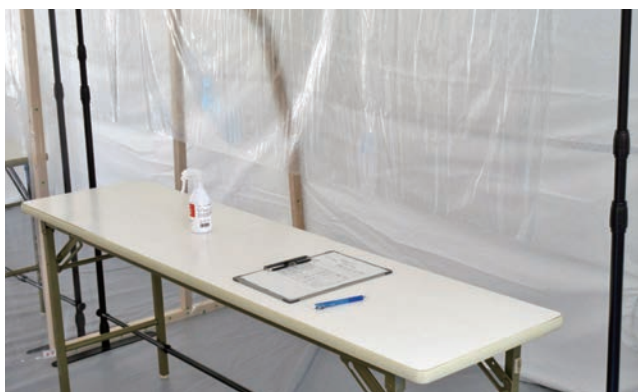
- 事前受付はできるだけ避難所入口の外に設置する。
- 避難者が2m間隔で並ぶよう立ち位置の目印を付する。  
(運営スタッフによる声かけも行う)
- 検温と消毒を必ず行い、「健康な人」と「発熱や体調不良のある方」の動線を分ける。
- 発熱や体調不良のある方を専用スペースに案内するスタッフはPPE(個人防護具)を装着する。
- 持ち物の確認や健康状態のチェック等、対面での会話を行う際は飛沫感染防止スクリーン等を設置する。



■ 2m間隔で並べるよう足下に目印を付けます。



■ 避難者のソーシャルディスタンスを徹底。

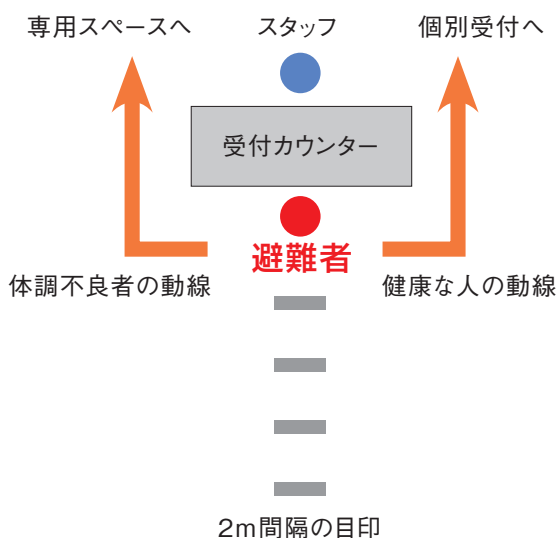


■ 受付に飛沫感染防止スクリーンを設置。



■ 避難者の持ち物確認および健康状態をチェック。

## 事前受付イメージ



## ソーシャルディスタンスを保ちつつ 健康な人と体調不良者を振り分け

避難所内でのコロナ感染を防ぐため、事前受付は避難所入口の外に設置するのが望ましいでしょう。

まず、受付では検温を行うとともに、避難者の手を消毒します。健康な人は、スタッフが避難者の持ち物を確認し、チェック表に健康状態を書き込みます。対面での会話を行う際は、飛沫感染防止スクリーン等を設置するのが望ましいでしょう。その後、避難者は入所受付を行うために「個別受付」へと向かいます。

一方、受付の検温確認時に発熱や体調不良を訴える方がいた場合は、PPE(個人防護具)を装着したスタッフが専用スペースへと誘導します。健康な方との接触をさけるため、できるだけ別動線を設けるようにしてください。



## 2 個別受付

健康な人が事前受付後に向かう「個別受付」では、「避難者カード」を運営スタッフに提出し、避難所の入所受付を行います。受付担当者は避難者カードを受け取った後に、入所の証明となる「ネームカード」を避難者に渡し、居住スペースへと移動してもらうよう促します。



個別受付の  
解説動画はこちら

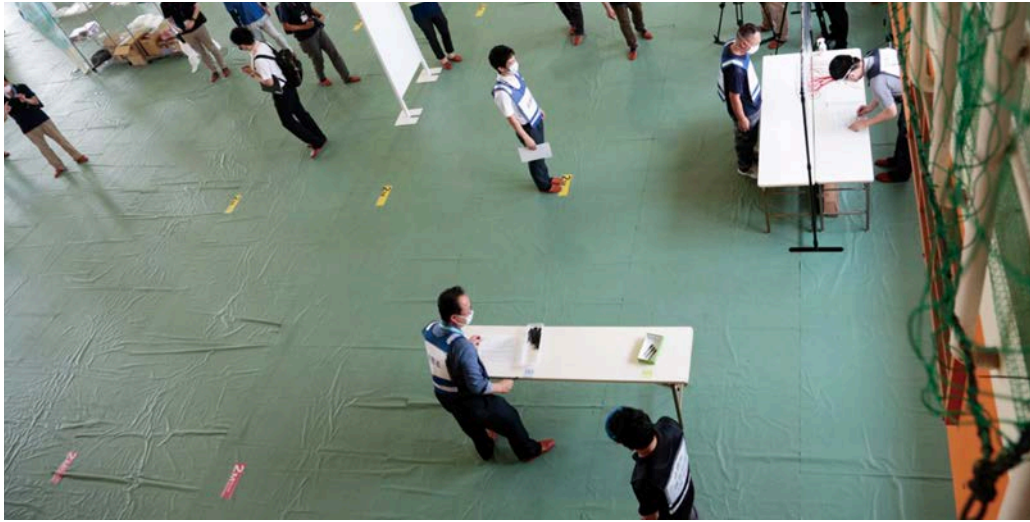


■ スタッフと避難者が対面で会話を行う場合は、飛沫感染防止スクリーン等を設置します。



### ポイント

- 避難者が2m間隔で並ぶよう立ち位置の目印を付する。  
(運営スタッフによる声かけも行う)
- 避難者カード記入の際も間隔を空ける。
- 筆記用具は使い回しせず、クリップペンシルを活用するなど、  
各避難者で別のものを使用、もしくは毎回消毒を行う。
- 受付では飛沫感染防止スクリーン等を設置する。
- 受付ではネームカードを避難者に渡す。  
(ネームカードのない避難者は避難所の出入り不可とする)
- マスクを持参していない避難者については、受付に用意して配布する。



■ 避難者は「避難者カード」を記入後、個別受付に移動。ネームカードを受け取り居住スペースへ向かいます。

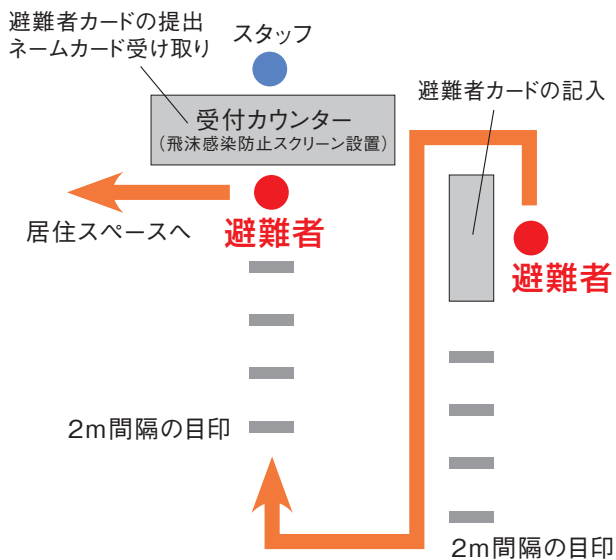


■ 避難者ごとに使い捨てや消毒済みのペンを使用。



■ ネームカード例。裏側に検温表を設けています。

## 個別受付イメージ



## 避難者カードの記入時も感染予防対策を徹底

受付に向かう前に、別のテーブルで避難者カードを記入します。避難者が2m間隔で並ぶよう立ち位置に目印を付け、ソーシャルディスタンスを促します。筆記用具は使い回しをせず、避難者ごとに消毒済みのペンを使用。使い終わったペンは使用済みの箱に入れます。

避難者カードを書き終わったら個別受付に移動し、書類を提出します。ネームカードを受け取った避難者を居住スペースへ案内します。



## 3 居住スペース

「居住スペース」は、健康な人が避難生活を送るための場所です。避難者同士の3密を回避するため、1人当たりのスペースを通常より広く確保することが重要となります。



居住スペースの  
解説動画はこちら



■パーティションを設けることで飛沫感染を防止できるほか、家族のプライベートな空間をつくることが可能。



### ポイント

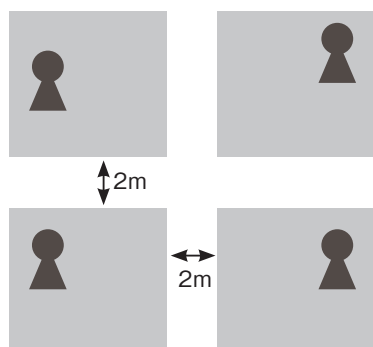
- 1人当たりのスペースは4㎡以上、通路幅は2m以上確保する。
- 「パーティション」や「テント」を積極的に活用する。
- 居住区画は、住所（コミュニティ）、性別、ニーズ、要配慮の状況等を考慮した割振りを行う。（区画の番号振りを推奨）
- 施設内の換気や共用部分（ドアノブ、手すり、スイッチ、蛇口等）の消毒を徹底する。
- 毎日検温と体調の確認を行う。
- 居住スペースから体調不良者が出た場合、可能であれば隔離スペースを設けて聞き取りを行い、発熱・体調不良者用の動線を通り専用スペースへ移動する。



居住スペースから体調不良者が出た場合は一旦「隔離スペース」で聞き取りを行い、できるだけ健康な人との接触を避けながら専用スペースへと誘導します。専用スペースの入口で、PPEを装着した担当スタッフへ引き継ぎます。



## パーティションなし

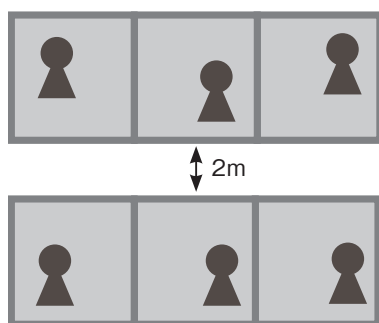


1人当たりのスペースは4㎡以上を確保



■ 1人当たりのスペースは4㎡以上、通路幅は2㎡以上を確保します。

## パーティションあり



1人当たりのスペースは4㎡以上を確保



■ パーティションを設ける場合は密着して並べることができます。通路幅は2㎡以上を確保します。

## 避難所の広さや状況に応じてパーティションタイプを選択



■ 段ボールタイプ1人用



■ 段ボールタイプ4人用



■ 簡易パーティション



■ ワンタッチテント



■ 大型テント

段ボールタイプのパーティションは、1人用、2人用、4人用など家族の人数によって使い分けることができます。必要に応じて、箱を組み合わせることでつくる段ボールベッドも活用してください。

パーティションには段ボールタイプ以外に木材、パイプなどいくつかのタイプがあります。また、支柱なしで簡単に組み立てられる簡易パーティションやスピーディーに設営できるワンタッチテント、家族用の大型テントなどを活用することも検討してください。

また、パーティションの高さは1.5mや1.8m等、数種類あります。高さが高いほど飛沫感染防止には有効ですが、費用やコミュニケーションの取りやすさも考慮して検討してください。

## 4 専用スペース

発熱や体調不良のある方には「専用スペース」を設ける必要があります。専用スペース内では、感染症対策が特に必要となります。スタッフは必ずPPEを装着して対応するようにしてください。



専用スペースの  
解説動画はこちら



### ポイント

- 専用スペースは可能な限り個室にすることが望ましいが、やむを得ず同室にする場合はパーティションで区切るなどの工夫をする。
- 専用スペースには「専用トイレ」を確保することが望ましい。
- 施設内の換気や共用部分(ドアノブ、手すり、スイッチ、蛇口等)の消毒を徹底する。
- 毎日検温と体調の確認を行う。
- スタッフはPPEを装着する。
- 発熱者ゾーンと濃厚接触者ゾーンへの動線をパーティション等で仕切る。



入口には、立ち入り禁止、の看板やシールなどを分かりやすく設置し、健康な人が間違っ  
て入ってこないよう十分に配慮します。



### スタッフが体調不良者をサポート

事前受付で発熱者や体調不良者が出た場合には、スタッフ付き添いのもと、それぞれのスペースに案内し、体調のチェックや入所受付のサポートを行います。



### パーティションを有効活用する

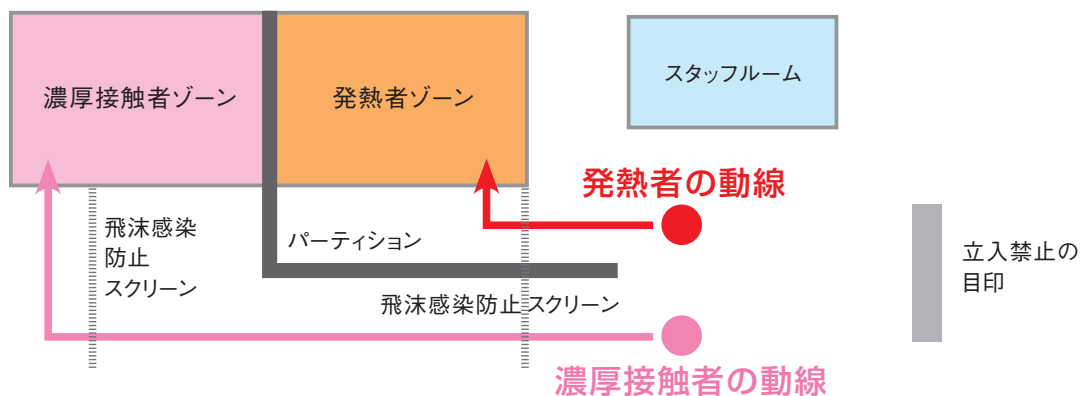
各ゾーンは可能な限り個室にすることが望ましいが、やむを得ず同室にする場合はパーティションで区切るなどの工夫を行います。専用スペースには「専用トイレ」を確保することが望ましいです。



### 発熱者と濃厚接触者を分ける

専用スペースは可能であれば「発熱者ゾーン」や「濃厚接触者ゾーン」など状況に応じたゾーン分けを行い、パーティション等の設置によって動線を区別します。

## 1つの教室等を2つのゾーンに区切る場合の設置例





## 5 PPE（個人防護具）

事前受付で発熱や体調不良のある方と長時間接する可能性のあるスタッフや、専用スペースのスタッフは、必ずPPEを装着するようにします。その他のスタッフは最低限、眼の防護具（フェイスシールド等）とマスクを装着することが望ましいでしょう。



PPE装着の  
解説動画はこちら

### 【PPEの着用例】



### PPE 着脱の手順

PPEの装着は、可能であれば2人で行います。まず、上着を装着した後にゴム手袋を2重に装着します。サージカルキャップをかぶり、フェイスシールドを装着して完成です。

作業中は、手袋をした手で顔を触らないよう注意しましょう。PPEを脱ぐ場合は上着、サージカルキャップ、マスクの順に外し、それぞれを感染性廃棄物用のゴミ箱に捨てていきます。

最後に残った手袋は内側に触れないように片方の手袋を脱ぎ、脱いだ手袋の内側部分でもう片方の手袋を脱ぐようにします。

最後のマスクを脱ぐ前に手指消毒をし、ゴム部分を持ってマスクを外します。避難所運営スタッフ全員の体温や体調の確認は、毎日行うようにしてください。



### ポイント

- 事前受付で発熱や体調不良のある方と長時間接する可能性のあるスタッフや専用スペースのスタッフは必ずPPEを装着する。
- その他のスタッフは眼の防護具（フェイスシールド等）とマスクを最低限装着する。
- 眼の防護具は目を覆うことができるもので代替可。
- 上着（長袖ガウン）については、レインコート（カッパ）など、体を覆うことができ、破棄できるもので代替可。撥水性があることが望ましい。

## 6 食事の受け渡し

食事の配食方法は、居住スペースと専用スペースによって異なります。居住スペースの避難者は配食カウンターで食事を直接受け取りますが、発熱者や濃厚接触者への配食は、スタッフが専用スペースの入口(立入禁止の手前)まで食事を運び、PPEを装着したスタッフへと受け渡します。



食事の受け渡しの  
解説動画はこちら



ソーシャルディスタンスを保って列に並んでもらうよう避難者に指示を行います。配食テーブルには飛沫感染防止スクリーン等を設置するようにしてください。



食器は「使い捨て容器」または「ラップをしたもの」を使用します。



### 専用スペースでの受け渡し

発熱・体調不良者の食事は、配食スタッフが専用スペース入口まで運び、PPEを装着した専用スペースのスタッフが避難者に配食します。食後はスタッフが食器を回収し、残飯やラップを感染性廃棄物用のゴミ箱に捨てるようにします。



### ポイント

- 一人分ずつ小分けにして配食する。
- 順番制にするなど、配食時の密を避けるための工夫をする。
- 食器は使い捨て容器またはラップをしたものを使用する。
- 健康な人は配食カウンターで個別に食事を受け取る。
- 健康な人は飛沫感染を防ぐため、できるかぎり自身の居住スペース内での食事が望ましい。
- 発熱・体調不良者の食事は配食スタッフが専用スペース入口まで運び、専用スペーススタッフが受け取り配食する。

## 7 ゴミ処理（専用スペース）

発熱、咳等の症状が出た方のための専用スペースでは、鼻水等が付着したマスクやティッシュ、おむつ等のゴミ処理にも気を配る必要があります。



ゴミ処理の  
解説動画はこちら



### ゴミ処理の手順

- ①ゴミ箱にゴミ袋をかぶせ、いっぱいになる前に処理します。
- ②ゴミに直接触れないように空気を抜いた後、ゴミ袋を縛り、アルコール消毒を行います。
- ③ゴミ袋をもう一つのゴミ袋の中に入れ、外側の手袋を捨ててしっかりと縛ります。
- ④内側の手袋を脱いだ後は、アルコール消毒を行うか、流水でしっかりと洗ってください。



### ポイント

- 手袋を2重に装着し、ゴミが一杯になる前に処理をする。
- ゴミに直接触れないように空気を抜いてしっかり縛る。
- アルコール消毒を行う。
- 2重にしていた外側の手袋を2枚目のゴミ袋に捨てる。
- ゴミ袋を2重にしてしっかり縛る。

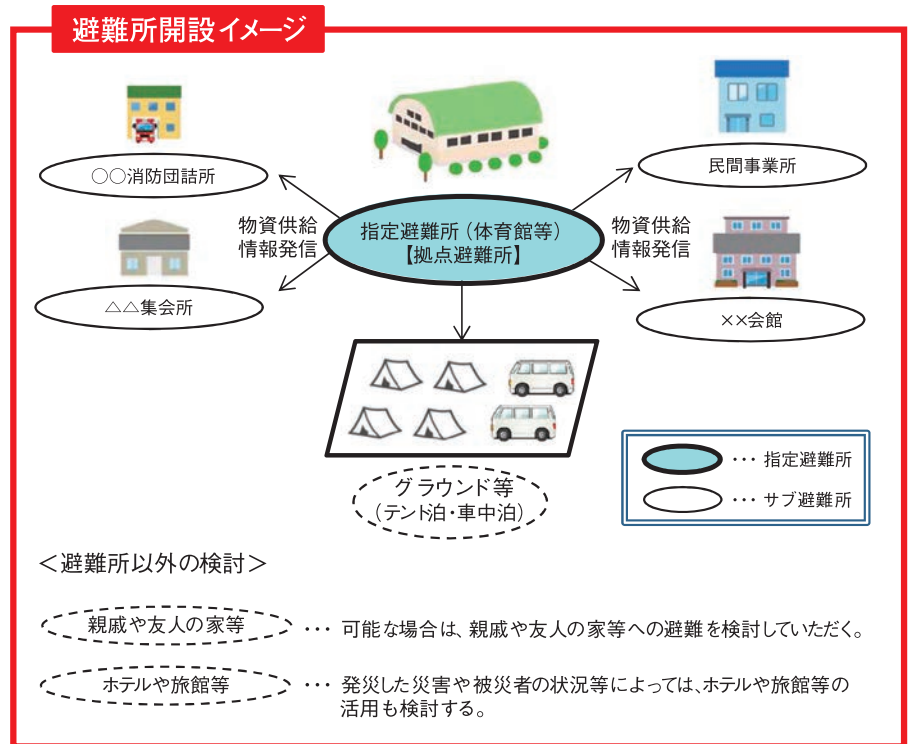


## 8 その他（サブ避難所）

避難所での3密を避けるための分散避難という考え方に沿って、避難所にはあらかじめ指定されている避難所のほか、災害の状況によりサブ避難所と呼ばれる避難所が開設される場合があります。



その他の  
解説動画はこちら



指定避難所は、地域の拠点として、被災者への情報発信の場となるとともに、必要な物資を受け取る場所にもなります。サブ避難所を開設した場合は、連絡手段や物資の供給などの支援体制を構築しておく必要があります。

### エアコンの活用

夏場の避難所では避難環境を向上するために移動式のエアコンが必要になることもあります。室内・室外機分離型エアコンやスポットクーラーなどがありますので、避難所の環境に合わせて利用を検討してください。



■ 室内・室外機分離型エアコン



■ スポットクーラー

## 8 その他（避難物展示）

災害時には、物資を手に入れることが難しくなり、また、支援物資の供給にも一定の時間を要することが想定されます。事前の準備として、自助の備えをしてもらえるよう、体温計やマスクなどの衛生用品を含め、各家庭での非常用持ち出し品の準備について周知を行うことが大切です。



■ 避難物資の一例。平常時から非常持出袋や個人備蓄の準備を促しましょう。

最低限の非常持出品チェックリスト✓	
★ 衛生用品	<input type="checkbox"/> 体温計 <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> 消毒液
食料品	<input type="checkbox"/> 飲料水 <input type="checkbox"/> 非常用食料 <input type="checkbox"/> ミルク・ほ乳びん(乳児用)
医薬品	<input type="checkbox"/> お薬手帳(コピー) <input type="checkbox"/> 常備薬
貴重品	<input type="checkbox"/> 健康保険証・免許証(コピー) <input type="checkbox"/> 現金(小銭)
生活用品	<input type="checkbox"/> ビニールシート <input type="checkbox"/> タオル、衣類 <input type="checkbox"/> マッチ・ろうそく・ライター <input type="checkbox"/> ビニールシート袋、ごみ袋 <input type="checkbox"/> 紙おむつ・おしりふき
避難用品	<input type="checkbox"/> 携帯用ラジオ <input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> 予備電池・携帯用充電器

衛生用品も  
忘れずに

# 参考資料

避難者名簿一覧表	15p
避難者カード	16p
健康状態チェックカード(日ごと)	17p
健康状態チェックカード(週ごと)	18p
コロナ時の避難所レイアウト例(避難受付時)	19p
コロナ時の避難所レイアウト例(避難受付以降)	20p
健康な人の避難所滞在スペースのレイアウト例	21p
発熱・咳等のある人や濃厚接触者専用室のレイアウト例	23p
避難所レイアウトの一例	24p
避難所内での感染症対策について	25p
避難所内の掲示例(こんな時はスタッフへ)	26p
避難所でのゴミの捨て方について	27p
避難所の物資・資材等リスト	28p





【避難者カード】

入所年月日		年 月 日		居住区		所属自治会	
ふりがな				居室の被害状況		居住の可否(可・否)	
記入者氏名				全壊・半壊・一部損壊・被害なし (半壊・一部損壊の場合)：寝泊りできる・寝泊りできない・わからない		断水・停電・ガス停止・電話不通	
住所		車種		ナンバー			
電話番号		車		有(種類)		無	
緊急連絡先		携帯番号					
氏名		氏名		住所		電話番号	
※必ず記入願います							
氏名		続柄		性別		生年月日	
年齢		職業 (勤務先、 学校・学年)		資格・ 特技等		配慮の区分	
世帯主						要介護者 高齢者	
						が い	
						妊産婦	
						その他	
						無事・不明	
						死亡	
						現在寝泊りしてい る場所(避難所名、 自宅、親類宅等)	
避難者一覧の揭示・公開		同意する		同意しない			
特に避難所生活において配慮を希望すること(通院治療・服薬の有無、各種障がい者手帳の所持、福祉サービスの利用、集団生活の不安、避難所において希望することなど)							

退所年月日	年 月 日
退所後住所	
退所後連絡先(電話番号)	携帯電話番号
備考	

## 健康状態チェックカード（例）

このカードは毎日 　　　　　 に提出してください。

記入日	月	日	曜日
記入時間（午前・午後）		時	分

ふりがな	
氏 名	

・発熱はありますか	ある ・ ない	体温（ ）度
・息苦しさはありますか	ある ・ ない	
・味や匂いを感じられない	ある ・ ない	
・咳やたんはありますか	ある ・ ない	
・全身倦怠感（だるさ） はありますか	ある ・ ない	
・嘔吐や吐き気はありますか	ある ・ ない	
・下痢が続いていますか	ある ・ ない	

・肺炎球菌のワクチンを 接種していますか	はい ・ いいえ ・ わからない
-------------------------	------------------



健康状態チェック表（一週間）(例)

ふりがな														
氏名														
記入日	/ (月)		/ (火)		/ (水)		/ (木)		/ (金)		/ (土)		/ (日)	
	朝	度	朝	度	朝	度	朝	度	朝	度	朝	度	朝	度
	昼	度	昼	度	昼	度	昼	度	昼	度	昼	度	昼	度
	夕	度	夕	度	夕	度	夕	度	夕	度	夕	度	夕	度
体温	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
息苦しさがある ・息が荒くなった(呼吸数が多くなった) ・急に息苦しくなった ・少し動くと息が上がる ・胸の痛みがある ・横になれない・座らないと息ができない ・肩で息をしている・ゼーゼーしている	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
味やにおいを感じられない	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
咳や痰が出る	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
全身倦怠感(だるさ)がある	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
吐き気や嘔吐がある	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
下痢がある	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
その他 風邪等の症状がある (食事が食べられない、半日以上尿が出ていない、鼻水・鼻つまりのどの痛み、目の充血、頭痛、関節痛、筋肉痛、けいれん、その他気になる症状)	はい・いいえ <症状>	はい・いいえ <症状>	はい・いいえ <症状>	はい・いいえ <症状>	はい・いいえ <症状>	はい・いいえ <症状>	はい・いいえ <症状>	はい・いいえ <症状>	はい・いいえ <症状>	はい・いいえ <症状>	はい・いいえ <症状>	はい・いいえ <症状>	はい・いいえ <症状>	はい・いいえ <症状>

この表は、巡回の医師や保健師等に提示を求められた場合や ○○○○の際に、○○○○に提示してください。

# 新型コロナウイルス感染症対応時の避難所レイアウト（例）〈避難受付時〉

専用階段、専用トイレの確保をする。（専用階段については、確保が難しい場合は、時間的分離・消毒等の工夫をした上で兼用することもあり得る。健康な人との兼用は不可。）

専用スペースと専用トイレ、独立した動線を確保できない場合は、濃厚接触者専用避難所を別途開設することも考えられます。

## 軽症者等（一時的）

・軽症者等は、予め災害時の対応・避難方法等を決め、本人に伝えておくことが重要です。

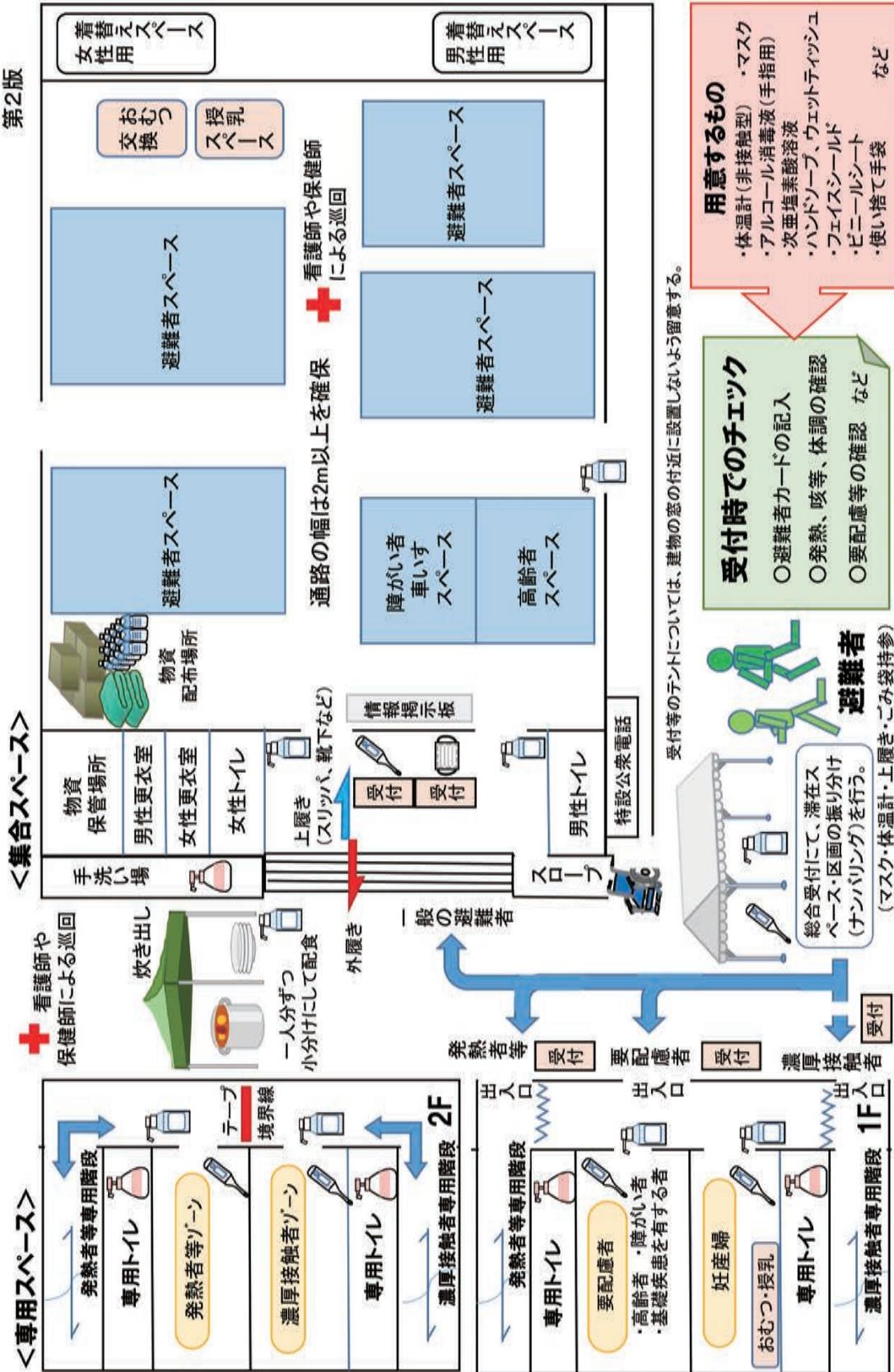
・軽症者等及び新型コロナウイルス感染症を発生したと疑われる人の対応については、防炎担当部局と保健福祉部局等が十分に連携の上で、適切な対応を事前に検討する。

・軽症者等が一時的に避難所に滞在する場合、一敷地内の別の建物とする。

・同一建物の場合は、動線を分け、専用階段とスペース、専用トイレ、専用風呂等が必要

※軽症者等であっても原則として一般の避難所に滞在することは適当でないことに留意する。

R2.6.10  
第2版

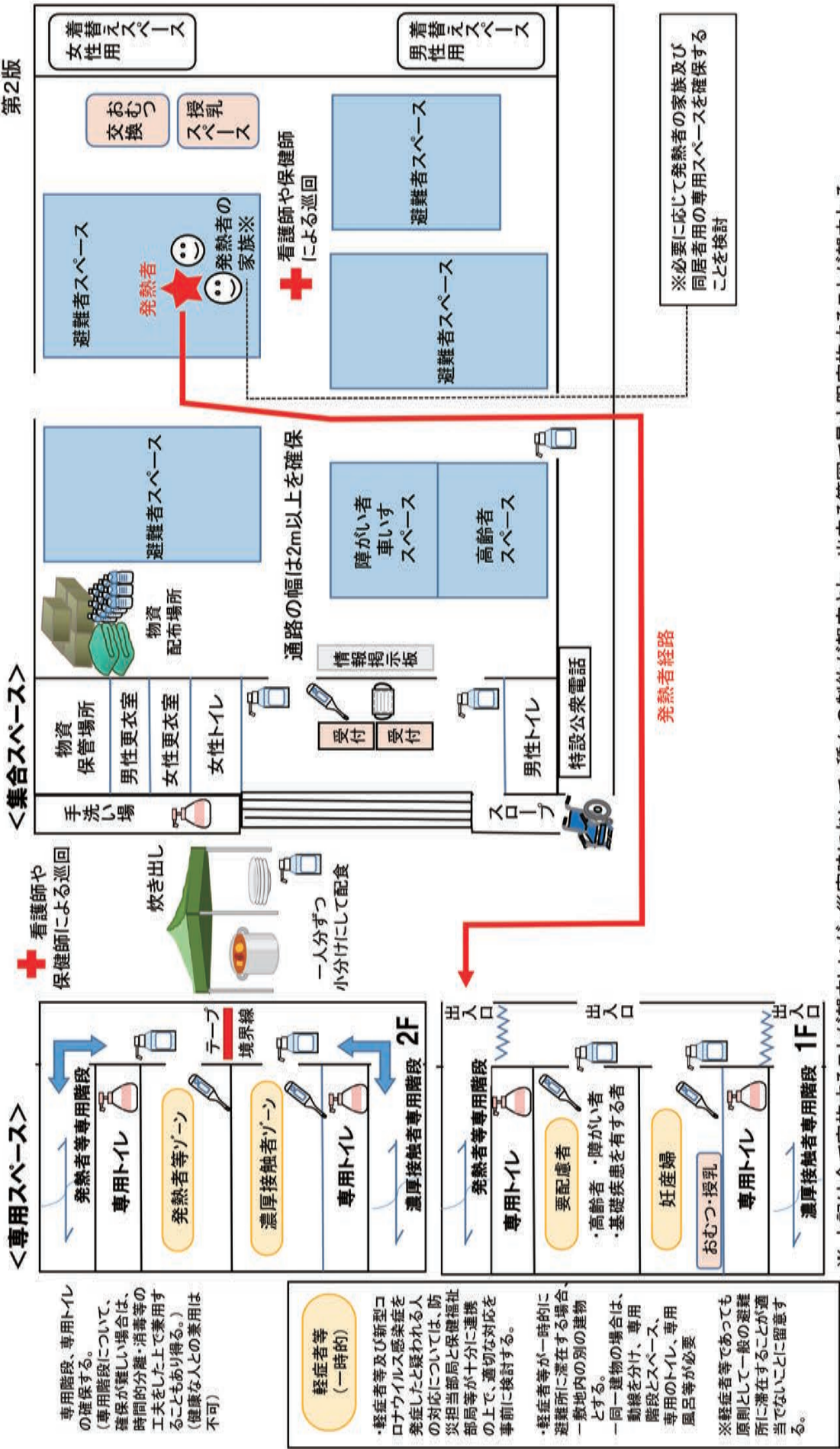


※ 上記は全て実施することが望ましいが、災害時において、種々の制約が想定され、出来る範囲で最大限実施することが望まれる。



# 新型コロナウイルス感染症対応時の避難所レイアウト（例）〈避難受付以降〉

R2. 6. 10  
第2版

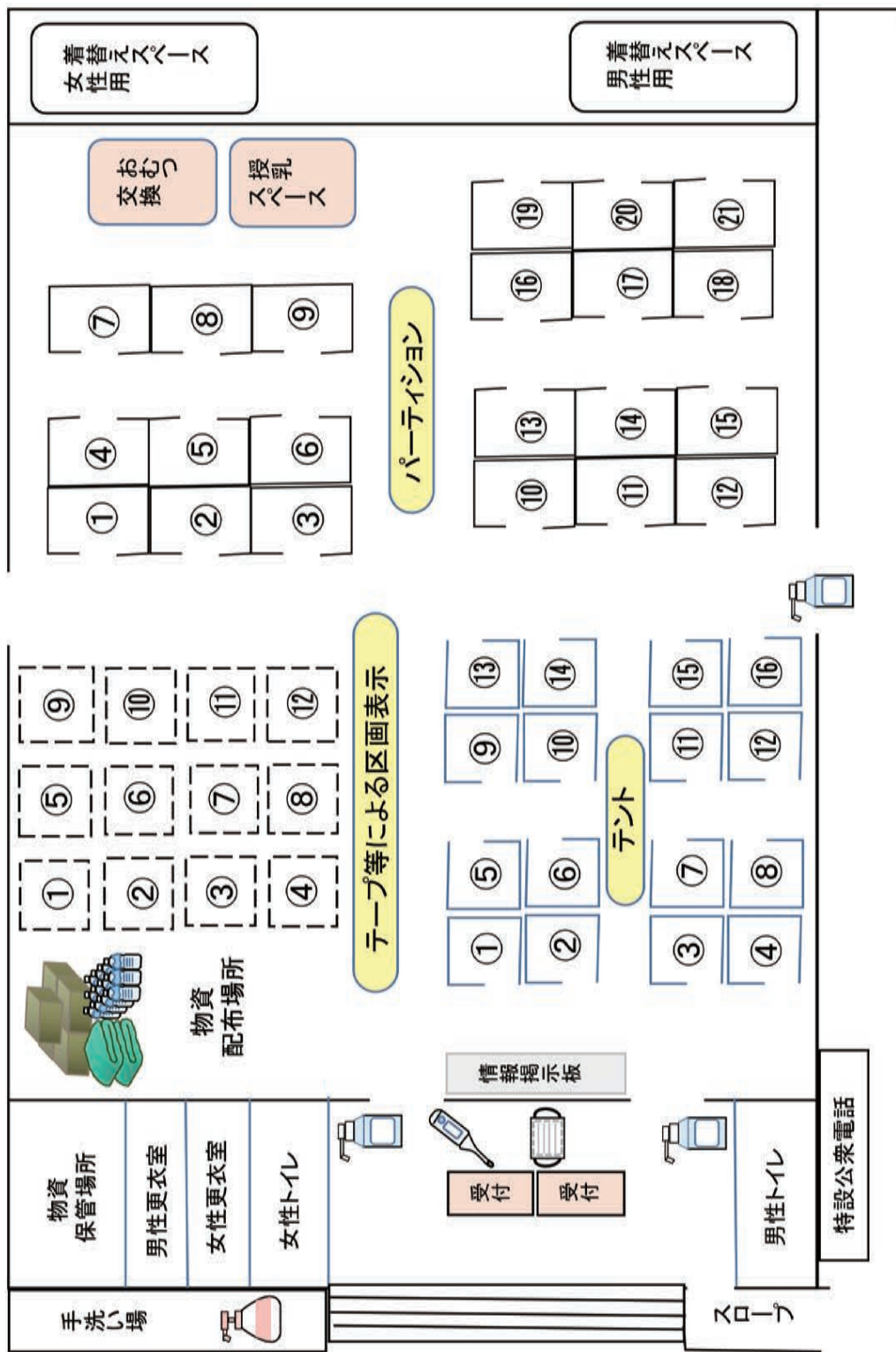




# 健康な人の避難所滞在スペースのレイアウト（例）

R2. 6. 10  
第2版

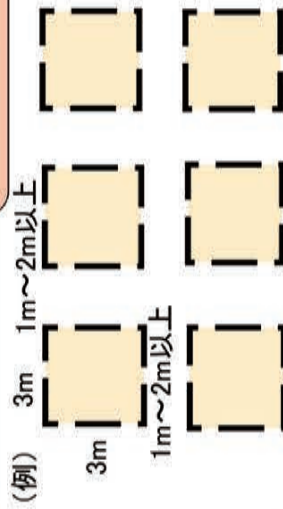
- テープ等による区画表示やパーティション、テントを利用する場合は、番号等を付し、誰がどの番号等の区画等に滞在しているか分かるように管理する。



# 健康な人の避難所滞在スペースのレイアウト (例)

- 体育館のような広い空間において、健康な人が滞在するスペースとしては、以下のような方法が考えられる。  
感染対策やプライバシー保護の観点からは、パーティションやテントを用いることが望ましい。
- 感染リスクの高い高齢者・基礎疾患を有する人・障がい者・妊産婦等が滞在する場合には、避難所内に専用スペースを設けることが望ましいが、体育館内に専用ゾーンを設け、以下と同様の考え方で利用することも考えられる。

## テーブル等による区画表示

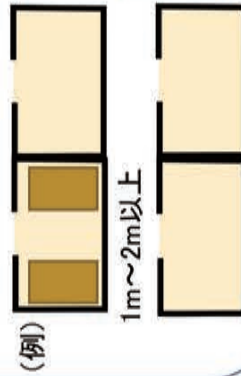


- 一家族が一区画を使用し、人数に応じて区画の広さは調整する
- 家族間の距離を1m以上あげる

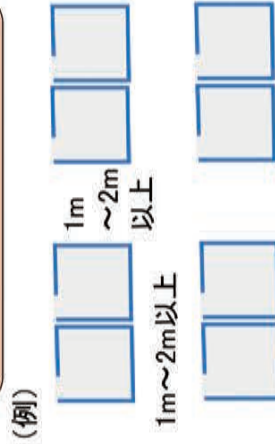
※スペース内通路は出来る限り通行者がすれ違わないように配慮する必要がある

## パーティションを利用した場合

- 飛沫感染を防ぐため、少なくとも座位で口元より高いパーティションとし、プライバシーを確保する高さにするのが望ましい。また、換気を考慮しつつ、より高いものが望ましい。



## テントを利用した場合



- テントを利用する場合は、飛沫感染を防ぐために屋根がある方が望ましいが、熱中症対策が必要な際には、取り外す。



※ 人と人の間隔は、できるだけ2m(最低1m)空けることを意識して過ごしていただくことが望ましい。

※ 避難所では、基本的にマスクを着用することが望ましい。特に、人と人の距離が1mとなる区域に入る人はマスクを着用する。

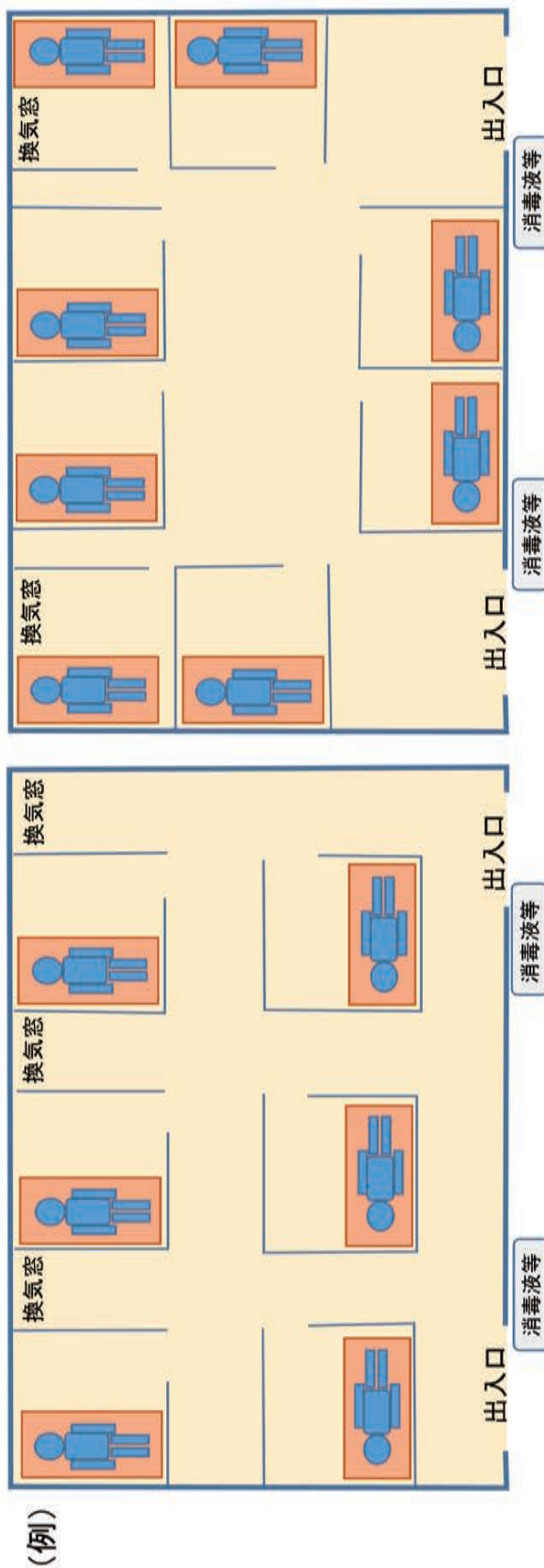
※ 上記は全て実施することが望ましいが、災害時において、種々の制約が想定され、出来る範囲で最大限実施することが望まれる。



## 発熱・咳等のある人や濃厚接触者専用室のレイアウト（例）

R2. 6. 10  
第2版

- 発熱・咳等のある人や濃厚接触者は、それぞれ一般の避難者とはゾーン、動線を分けること。
- 発熱・咳等のある人は、可能な限り個室にすることが望ましいが、難しい場合は専用のスペースを確保する。やむを得ず同室にする場合は、パーティションで区切るなどの工夫をする。
- 濃厚接触者は、可能な限り個室管理とする。難しい場合は専用のスペースを確保する。やむを得ず同室にする場合は、パーティションで区切るなどの工夫をする。  
※濃厚接触者は、発熱・咳等のある人より優先して個室管理とする。
- 人権に配慮して「感染者を排除するのではなく、感染対策上の対応であること」を十分に周知する。



※飛沫感染を防ぐため、少なくとも座位で口元より高いパーティションとし、プライバシーを確保する高さにすることが望ましい。また、換気を考慮しつつ、より高いものが望ましい。

- ・軽症者等は、予め災害時の対応・避難方法等を決めておくことが望ましいが、避難所に一時的に滞在する可能性がある。
- ・感染予防および医療・保健活動のしやすさの観点から、地域における感染拡大状況や、各避難所、活用するホテル・旅館等の状況を踏まえ、防災担当部局や保健福祉部局等の連携のもと、必要に応じて特定の避難者の専用の避難所を設定することも考えられる。  
(例：高齢者・基礎疾患を有する者・障がい者・妊産婦用、発熱・咳等の症状のある者用、濃厚接触者用)

※ 発熱・咳等のある人や濃厚接触者は、マスクを着用する。

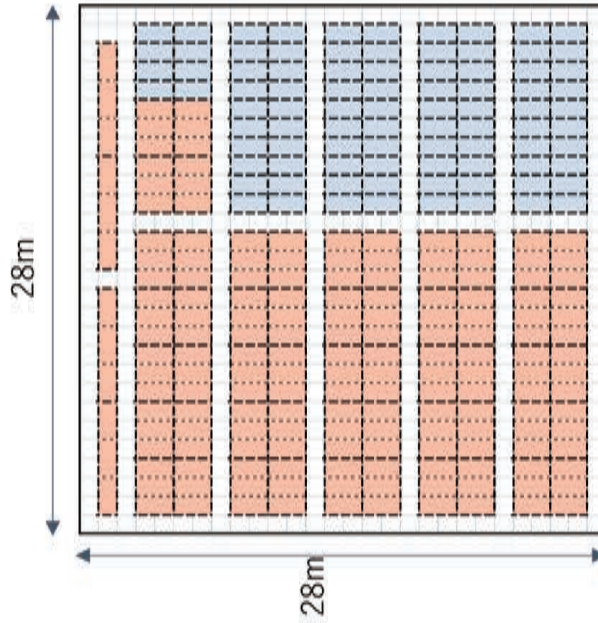
※ 上記は全て実施することが望ましいが、災害時において、種々の制約が想定され、出来る範囲で最大限実施することが望まれる。



## 【避難所レイアウトの一例】

<① 従来のレイアウト例>

(条件)  
面積：2㎡/1人 通路：1m

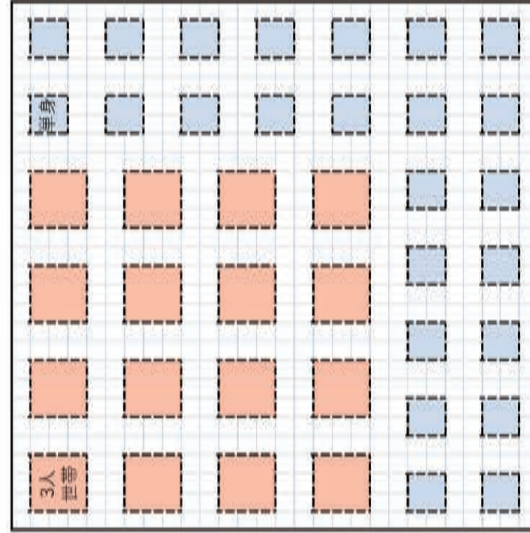


(収容人数の想定)  
■ 3人世帯 × 58  
■ 単身 × 88 合計262人

<② 間隔を確保した例(パーティションなし)>

(条件)  
面積：4㎡/1人(単身)、3㎡/1人(家族)  
間隔：2m

※家族は3人世帯のみと想定

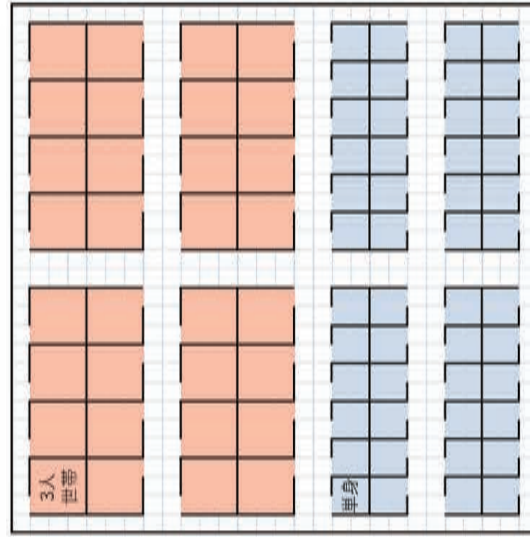


(収容人数の想定)  
■ 3人世帯 × 16  
■ 単身 × 24 合計72人

<③ パーティションを活用した例>

(条件)  
面積：4㎡/1人(単身)、3㎡/1人(家族)  
通路：2m

※家族は3人世帯のみと想定



(収容人数の想定)  
■ 3人世帯 × 32  
■ 単身 × 48 合計144人

※家族のスペースについては、内閣府等の「新型コロナウイルス感染症対策に配慮した避難所開設・運営訓練ガイドライン(第二版、令和2年9月7日)」の占有スペースの区割り(一家族が一区画(目安は3m×3m))の考え方を参考とした。



# 感染症対策 へのご協力をお願いします

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

## ① 手洗い

### 正しい手の洗い方

手洗いの前に

- ・爪は短く切っておきましょう
- ・時計や指輪は外しておきましょう



流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。



手の甲をのぼすようにこすります。



指先・爪の間を念入りにこすります。



指の間を洗います。



親指と手のひらをねじり洗います。



手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

## ② 咳エチケット

### 3つの咳エチケット

電車や職場、学校など人が集まるところでやろう



何もせずに咳やくしゃみをする

咳やくしゃみを手でおさえる



マスクを着用する(口・鼻を覆う)

ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う

袖で口・鼻を覆う

### 正しいマスクの着用



1 鼻と口の両方を確実に覆う



2 ゴムひもを耳にかける



3 隙間がないよう鼻まで覆う

首相官邸 Prime Minister's Office of Japan

厚生労働省 Ministry of Health, Labour and Welfare

厚労省

検索



## 【避難所内の掲示例】

次の症状がある場合はすぐにスタッフにお知らせください

1. 息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、  
高熱等の強い症状のいずれかがある
3. 上気道炎症状（咳、鼻汁、咽頭痛など）がある
4. インフルエンザ様症状（全身がだるい、寒気、  
頭痛、関節痛・筋肉痛など）がある
5. 咳があり、血がまざった痰がでる
6. からだにぶつぶつ（発疹）が出ている
7. からだにぶつぶつ（発疹）が出ていて、  
かゆみや痛みがある
8. 唇や口の周りにぶつぶつ（発疹）が出ていて、  
痛みがある
9. 首がかたい感じがしたり、痛かったりする
10. 下痢便（水のような便、柔らかい便、形のない便、  
噴出すような便など）が出た
11. 吐いた、または吐き気がする
12. おなかが痛く、便に血がまざっている
13. 目が赤く、目やにが出ている
14. 傷などがあり、膿がでたり、赤かったり、  
腫れていたたり、痛かったりする





避難所の物資・資材等リスト(新型コロナウイルス感染症対策分)

品名	数量	保管場所	メモ
マスク			
消毒液(アルコール)			
体温計(非接触型)			
体温計(その他)			
血圧計			
ポンプ式ハンドソープ			
家庭用洗剤			
タオル			
ペーパータオル			
ティッシュ			
ビニル袋			
使い捨て手袋			
使い捨てガウン(防護着) プラスチックガウン			
フェイスシールド			
ゴーグル			
赤外線サーモグラフィ*1			
段ボールベッド			
間仕切り用パーティション			
ビニルシート			
ガムテープ等			
段ボール			
テント			
簡易トイレ			
仮設トイレ			

\*1 規模の大きな福祉避難所など  
(AI温度検知ソリューション含む)

※ マスク、ガウン、手袋等の正しい脱着法や消毒方法について事前に確認しておきます。



**徳島県危機管理環境部 とくしまゼロ作戦課**

〒770-8570 徳島県徳島市万代町1丁目1番地  
Tel:088-621-2108 Fax:088-621-2987